

本 会 記 事

第 97 回 日本放射線化学会 理事会議事録 (案)

日時 平成 24 年 9 月 26 日 (水) 19:00-22:00

場所 モンタナリゾート岩沼

出席者 中川会長, 浅井, 山路, 砂川, 中川 (清), 吉田, 高橋, 柴田, 関, 田川, 伊藤, 平出 (事務局)

議題

1. 前回議事録確認 (事務局 平出)
第 96 回理事会の議事録を確認した。
2. 平成 23 年度事業報告確認 (事務局 平出)
 - 1) 第 54 回 放射線化学討論会
平成 23 年 9 月 28 日 (水) ~30 日 (金)
大阪大学 (吹田キャンパス) 産業科学研究
所 管理棟 1 階 講堂
 - 2) 協賛会議
平成 23 年 7 月 9 日 (月) ~11 日 (水) 第
49 回 アイソトープ・放射線 研究発表会
平成 24 年 1 月 26 日 (月) 第 21 回 放射線
利用総合シンポジウム
 - 3) 放射線化学若手の会開催
(担当 東大 勝村研) 伊香保温泉 榮泉閣
平成 23 年 9 月 14 日 (水) ~16 日 (金)
(担当 福井工業大学 砂川研) ホテルつる
や
平成 24 年 9 月 12 日 (水) ~14 日 (金)
 - 4) 会誌 93 号 平成 24 年 3 月 発行, 会誌 94 号
平成 24 年 9 月 発行
3. 事業計画
 - 1) 第 56 回放射線化学討論会 開催 (平成 25 年
広島国際大学, 広島大学主催)
 - 2) 第 57 回放射線化学討論会と APSRC 2014 (平
成 26 年 東京大学主催)
 - 3) 放射線化学若手の会開催 (担当 大阪大学 吉
田研)
 - 4) 会誌 95 号 平成 25 年 3 月 発行予定, 会誌
96 号 平成 25 年 9 月 発行予定
4. 平成 23 年度 決算報告 (事務局 平出)
決算報告を確認した。
5. 入退会者, 賛助会員一覧 (事務局 平出)
入会者 11 名に対し, 退会者 13 名と報告があつた。賛助会員の JAEA が 5 口から 1 口になる可能性がある。メリットが同じであれば, 1 口になっていくことが危惧され, 対策, 例えば, 1 口の定義を会社規模などを考慮して行う等, の必要性が報告がされた。
6. 役員名簿確認 (事務局 平出)
 - 1) 次期会長人事について, 会長から, 東工大の河内先生にお願いしたいと提案があり, 理事会では了承された。
 - 2) 会長から, JARR 理事である, 吉田先生 (阪大) を副会長にという提案があり, 了承された。
 - 3) 新たに, 広島国際大学の林先生, 日大 (郡山) の加藤先生を理事にという提案が出され, 了承された。
 - 4) 幹事であった南波先生 (JAEA) を顧問に, 顧問であった, 市川先生 (北大) を幹事にという提案がされ, 了承された。
 - 5) 楊先生 (阪大) を国際交流委員へという提案があり了承された。
7. 会長報告 (中川会長)
 - 1) 学会各賞の受賞規定の見直しについて以下のような提案が会長からなされた。
現行の各賞の在籍年数要件は長すぎる, 人数に比べて賞の数が多い, などの問題があり, 放射線化学会各賞の見直し委員会で見直し作業を行ってきた。改訂案として, 1) 「日本放射線化学賞」と改名し, ひとつにまとめる。2) 在籍年数制限なし, 会員であればよしとする。3) 対象は個人およびグループ。4) 基礎・技術・貢献の 3 つの

本 会 記 事

カテゴリに分ける。5) 奨励賞も包含。6) 論文賞としての側面が強まると考えられる。

この提案に対し以下の議論がなされた。

・若手の奨励という観点の奨励賞は残すべきである。

・「若手奨励賞」と「日本放射線化学賞」の2本立てがよい。

・微分型なのか積分型なのか。論文賞的？論文以外の業績リストも必要

・論文以外の取扱いを、文言としてはどのように入れるのか。

・対象はどこまでか。

・学会活動に貢献することが望まれる。

などの議論があり、今後、まだ議論を要するというので、見直し委員会案は棚上げで今後も議論続行とすることとし、次回の学会賞は現状どおり行うことで了承された。

8. 編集委員会報告及び各委員会報告

1) 国際交流委員会報告

(1) 4th Asia Pacific Symposium on Radiation Chemistry (APSRC-2012) (Huangshan, Anhui, China, 30 October – 3 November, 2012) への若手支援

【応募方法】

採用枠：3-5名程度

支援額：10万円以内

応募の仕方：書類審査（審査員：国際交流委員会）

【募集期間】

平成24年5月23日～6月24日（学会WEB）

【審査書類】

氏名、所属、身分、年齢、住所、電話番号、e-mail、日程

発表題目（英文）：

発表者（英文、連名の場合はすべてを記載）：

発表形式（口頭、ポスター等）：

発表要旨（英文200words以内）：

【支援採択者】（支援額：7万円）

土田亮太 早稲田大学理工学研究所 M2

黒澤知里 金沢大学大学院物質工学専攻 M2

山下真一 日本原子力研究開発機構量子ビーム応用研究部門 PD

樋川智洋 大阪大学産業科学研究所 M2

岩松和宏 東京大学大学院工学系研究科原子

力国際専攻 D1

(2) 海外会員制度の申し合わせ

・前回理事会に提案した海外会員制度に関しては、しばらく運用を行い、問題点等を整理した後に、規定を制定する。

・国際交流員会登録者に対するメールマガジンサービス

2) 企画委員会

放射線化学セミナーの開催

日時（予定）：平成24年10月27日（土）
13:30～17:00

場所（予定）：京都大学宇治キャンパス 総合研究実験棟5階ブレインストーミング室
共催：電気学会「量子ビームによるナノバイオ物理応用技術調査専門委員会」

講演者：

1) 楊金峰氏（阪大・産研）

「RF電子銃を用いた高速MeV電子線回折と電子顕微鏡の研究」（仮題）

2) 松尾二郎氏（京大・工）

「高速重イオンを用いたバイオイメージング技術」（仮題）

3) 大澤大輔氏（京大・RIセンター）

「未定」

9. 学会業務の外部委託について（事務局 平出）

新年度に従来どおり契約を延長することが承認された。

10. 国際会議について

1) APSRC-2014と第57回放射線化学討論会をジョイントして東大が担当で開催予定である。通常の討論会に比べ参加費が高くなることは、学生会員などには問題であると考えられ、通常、討論会補助費として確保している20万円を学生会員への参加補助へまわすこととし、また、会議中に総会の開催を行うことで、ジョイントの開催が承認された。

2) ICRP（平成27年5月23日-29日）と放射線化学討論会をジョイントしての開催、また、その前後に開催されるIRaP（もともと平成26年開催を平成27年開催とする）の共催の要望があり、了承された。ただし、会計年度、会長、理事の任期の時期と異なるため、9月に総会を開催することとする。

本 会 記 事

平成 24 年度役員名簿（平成 24 年 10 月 1 日現在）

会長	河内 宣之（東工大院理工）	
副会長	吉田 陽一（阪大産研） 平出 哲也（原子力機構・東海）	鷲尾 方一（早大理工研） 小林 慶規（産総研）
常任理事	丑田 公規（北里大） 小嶋 拓治（原子力機構・高崎） 錦見 敏朗（NHV コーポレーション） 柴田 裕実（京大院工） 住吉 孝（北大院工）	辻 正治（九大先導研） 永石 隆二（原子力機構・東海） 真嶋 哲朗（阪大産研） 中川 和道（神大院人間発達環境） 勝村 庸介（東大院工）
理事	青木 康（住友重機械） 長島 章（放振協） 小嶋 崇夫（大阪府大） 依頼中（原子力機構・関西） 工藤 久明（東大院工） 熊谷 純（名大院工） 伊藤 賢志（産総研） 関 修平（阪大院工） 鈴木 信三（京産大理） 堀邊 英夫（金沢工大） 浅井 圭介（東北大院工） 林 慎一郎（広島国際大）	砂川 武義（福井工大） 高橋 憲司（金沢大工） 竹中 康之（北教大） 中川 清子（都立産技研） 中村 一隆（東工大セラミック研） 駒口 健治（広大院工） 藤原 邦夫（千葉大工） 依頼中（京都工芸繊維大学） 泉 佳伸（福井大） 山路 稔（群馬大院工） 加藤 隆二（日本大）
監事	市川 恒樹（北大院工）	平岡 賢三（山梨大工）
事務局	平出 哲也（原子力機構・東海）	岡 壽崇（阪大産研）
顧問	佐藤 伸 田川 精一（阪大産研） 田畑 米穂（原子力システム研究懇話会）	籾野 嘉彦 濱 義昌（早大理工研） 南波 秀樹（原子力機構・東海）
名誉会員	今村 昌 団野 皓文	近藤 正春
編集委員会	委員長：小林 慶規（産総研） 主任：工藤 久明（東大院工） 越水 正典（東北大院工） 松本 裕之（岩崎電気） 山本 洋揮（阪大産研） 伊藤 賢志（産総研）	泉 佳伸（福井大） 熊田 高之（原子力機構・関西） 廣木 章博（原子力機構・高崎） 藤井 健太郎（原子力機構・東海） 永石 隆二（原子力機構・東海） 岡 壽崇（阪大産研）
企画委員会	委員長：柴田 裕実（京大院工） 小泉 均（北大院工） 駒口 健治（広大院工） 砂川 武義（福井工大） 辻 正治（九大先導研） 楊 金峰（阪大産研）	青木 康（住友重機械） 越水 正典（東北大院工） 佐藤 哲也（山梨大） 田口 光正（原子力機構・高崎） 室屋 裕佐（阪大産研）
国際交流委員会	委員長：吉田 陽一（阪大産研） 室屋 裕佐（阪大産研） 田口 光正（原子力機構・高崎）	泉 佳伸（福井大） 林 銘章（中国科技大） 楊 金峰（阪大産研）
推薦委員会	田川 精一（阪大産研） 立矢 正典（産総研） 南波 秀樹（原子力機構・東海）	濱 義昌（早大理工研） 平岡 賢三（山梨大工）

本 会 記 事

平成 23 年度会計決算報告（平成 24 年 9 月 7 日現在）

収入の部

（単位：円）

項目	23 年度予算案	23 年度決算	内容等
賛助会員（13 社 42 口）	420,000	420,000	10,000×42 口
個人正会員（219 名）	834,500	830,500	4,000 × 202 名 = 808,000
学生会員（31 名）			1,500 × 16 名 = 24,000
			正・学会費差額精算分 2,500
			未納金額合計 702,000
要旨集 CD 販売	0		
雑収入（利息等）	150,000	710 22,990 219,668	国際文献分（419）、事務局分（291） 著作権料 寄付金（阪大産研 70,063 名大 149,605）
戻入金	0		
補助金	0		
積立基金からの繰り込み	0	0	
前年度繰越金	2,588,094	2,588,094	
合計	3,992,594	4,085,962	

支出の部

項目	23 年度予算案	23 年度決算	内容等
通信連絡費	20,000	780	切手代
振込手数料		7,665	委員会,HP,原稿料等
事務委託費 年間業務費	700,000	690,817	7-8 月 (106,865), 9-12 月 (454,873), 1-3 月 (63,389), 4-6 月 (65,690)
会誌 原稿料	150,000	59,000	
会議費	15,000	9,232	理事会軽食代+お茶代
放射線化学討論会援助	200,000	200,000	
先端放射線化学シンポジウム援助	100,000		
若手の会夏の学校援助	150,000	150,000	
学会賞	100,000	24,024	学会賞盾
企画委員会経費	75,000		
国際交流委員会経費	75,000	17,992	
編集委員会経費	200,000	200,000	
日本放射線研究連合負担金	50,000	0	今年度は分担金なし
ホームページ運営費	60,000	60,000	
予備費	200,000	354,100	WEB サーバー + ドメイン年間使用料 4,100 APSRC-2012 若手渡航支援 (70,000 x 5 名)
小計	2,095,000	1,773,610	
繰越金	1,897,594	2,312,352	
合計	3,992,594	4,085,962	

本 会 記 事

平成 23 年度 入退会希望者一覧

入会

会員種別	会員番号	会員名	所属機関名	紹介者
正会員	667	山本 洋揮	大阪大学 産業科学研究所	田川 精一
正会員	668	浅井 圭介	東北大学大学院 工学研究科 応用化学専攻	越水 正典
学生会員	669	Ravi Joshi	大阪大学 産業科学研究所	
学生会員	670	馬 紅娟	日本原子力研究開発機構 量子応用研究所	林 銘章
正会員	671	黒田 隆之助	(独) 産業技術総合研究所 計測フロンティア研究部門	田中 真人
学生会員	672	Phantira Lertnaisat	東京大学	勝村 庸介
正会員	673	Chen Zhe	武漢行程大学	楊 金峰
正会員	674	松本 裕之	岩崎電気株式会社 研究開発部	小島 拓治
正会員	675	市川 有二郎	千葉県環境研究センター 大気騒音振動研究室	
学生会員	676	西田 真麻	金沢大学大学院 化学反応工学研究室 高橋憲司ラボ	高橋 憲司
学生会員	677	土田 亮太	早稲田大学大学院 先進理工学研究科	鷺尾 方一
学生会員	678	樋川 智洋	大阪大学 産業科学研究所 吉田陽一研究室	吉田 陽一

退会

会員種別	会員番号	会員名	所属機関名	退会日
正会員	428	渡部 力	首都大学東京	2011/9/16
正会員	414	吉澤 巖	(株) ダン・タクマ 技術部	2011/9/26
正会員	539	瀧上 眞知子	日本原子力研究所 高崎研究所	2011/9/26
正会員	408	山本 雅英		2011/10/3
学生会員	596	清水 裕太	名古屋大学工学研究科	2011/10/4
正会員	298	長谷川 伸	日本原子力研究開発機構 高崎研究所	2011/10/13
正会員	217	竹下 英文	日本原子力研究所 東海研究所企画室	2012/2/7
正会員	296	長谷 博友	京都大学 原子炉実験所	2012/3/31
正会員	35	伊藤 泰男	日本原子力研究所内	2012/5/18
正会員	600	青柳 登	独立行政法人 日本原子力研究開発機構	2012/7/11
正会員	67	岡崎 清		2012/8/31
正会員	111	木下 忍	岩崎電気 (株) 技術研究所	2012/8/31
学生会員	501	中山 公志	Max Planck Institute for Bioinorganic Chemistry	2012/8/31

平成 24 年度 日本放射線化学会賛助会員

(株) アイ・エレクトロン
ビーム
<http://www.elebeam.com>

(株) NHV コーポレーション
<http://www.nhv.jp>

(株) イー・シーイー

(株) 環境浄化研究所

(独) 日本原子力研究開発機構
<http://www.jaea.go.jp>

四国電力 (株)

ビームオペレーション (株)

住友電気工業 (株)
<http://www.sei.co.jp>

(財) 放射線利用振興協会

ラジエ工業 (株)
<http://www.radia-ind.co.jp>

マイクロ電子 (株)

レーベン館 (株)

DIC グラフィックス (株)

放射線化学 第95号

平成25年3月31日発行

発行所 日本放射線化学会

<hirade.tetsuya@jaea.go.jp>

〒319-1195 茨城県那珂郡東海村白方白根2-4

平出哲也（日本原子力研究開発機構・東海）

TEL: 029-282-6552, FAX: 029-282-6716

編集委員長 小林 慶規

編集委員 工藤 久明

廣木 章博 熊田 高之

山本 洋揮 越水 正典

泉 佳伸 松本 裕之

藤井 健太郎 永石 隆二

伊藤 賢志 岡 壽 崇

郵便振替口座

長野 00540-9-34599

日本放射線化学会

発行人 河内 宣之